

B1FY-2801-01

**Fujitsu**

GRANPOWER5000 シリーズ

**DAT ユニット(GP5SDT301)**

富士通株式会社

1999年 7月 21日

ALL Right Reserved, Copyright © Fujitsu LDT. 1999

## はじめに

このたびは、GRANPOWER5000シリーズ用D A T ユニット（GP5SDT301）をお買  
いあげいただき、まことにありがとうございます。

本書は、D A T ユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことがらに  
について説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますよう  
お願ひいたします。

1997年10月

## 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載さ  
れています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の  
「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いく  
ださい。

また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してく  
ださい。

## 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

感電



で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）が示されています。

分解



で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。

プラグ



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

## ■ 警告

感電



必ず電源を接続する前にアース接続をしてください。  
アース接続ができない場合は、弊社担当保守員にご相談ください。  
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。

感電



万一、装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに装置本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
煙が消えるのを確認して、弊社担当保守員に修理をご依頼ください。  
お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。  
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電



異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、ただちに装置本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電



装置を落としたり、カバーなどを破損した場合は、装置本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電



装置の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



台所など湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。  
故障・感電・火災の原因となります。

感電



風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
また、タコ足配線をしないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



近くで雷が起きた時は、電源コードをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると、雷によっては装置を破壊し、感電・火災の原因となります。

感電



付属の電源コード以外は使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



装置に水をかけたり、濡らしたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。

感電



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。  
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、  
加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

感電



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。  
修理は弊社担当保守員にご依頼ください。

発火



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。  
そのまま使用すると、火災の原因となります。

 感電 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。

 感電 装置本体のカバーや差し込み口についているカバーは、取りはずさないでください。  
内部の点検、修理は弊社担当保守員にご依頼ください。  
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

 感電 装置をお客様自身で改造しないでください。  
感電・火災の原因となります。

## ■ 注意

 発火 装置の開口部（通風孔など）をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

 けが 装置の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。  
バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

 けが 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定の場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

 発火 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。  
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、装置内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

 感電 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

発火



電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。  
火災・故障の原因となります。

発火



使用中の装置は布などでおおったり、包んだりしないでください。  
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

発火



電源コードを束ねて使用しないでください。  
発熱して、火災の原因となることがあります。

感電



装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。  
作業は足元に十分注意して行ってください。  
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

発火



長時間装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災・故障の原因となることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

SCSIは、Security Control Systems, Inc. の登録商標です。

会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright 富士通株式会社 1997

## 梱包物を確認してください

ご使用いただく前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

D A T ユニット ( GP5SDT301 )  
電源ケーブル  
アダプタプラグ  
クリーニングカセット  
取扱説明書

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店  
または弊社担当保守員までお申し付けください。

# 目次

---

1 . 概要 .....	1
1 . 1 DATユニットの特長 .....	1
1 . 2 システム構成 .....	1
1 . 3 外観および各部の名称 .....	2
1 . 4 各部の機能 .....	3
2 . 取り扱い上の注意 .....	5
3 . ドライブ番号の設定 .....	6
4 . 接続のしかた .....	7
5 . 操作のしかた .....	9
5 . 1 データカセットの操作 .....	9
5 . 2 データカセットについて .....	10
6 . 清掃について .....	11
6 . 1 磁気ヘッドの清掃 .....	11
6 . 2 クリーニングカセット .....	11
7 . バックアップソフトウェア .....	12
8 . 仕様 .....	13

# 1. 概要

## 1.1 DATユニットの特長

本製品は次のような特長を持っています。

磁気記録方式により、何度もデータの消去、書き込みが可能です。  
記憶容量は、テープ1巻で 12 GB byte (圧縮時約 24 GB byte)  
と大容量です。

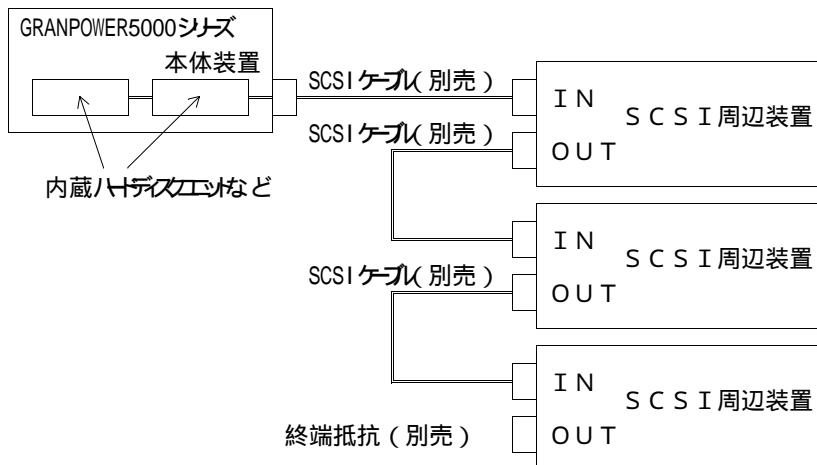
記録フォーマットは、ANSI DDS (Digital Data Storage) 規格  
に準拠しています。

SCSI ID 設定スイッチが装置背面にあり、さらに、「数値ダイヤル式」のため、ドライブ番号の設定や変更が簡単にできます。

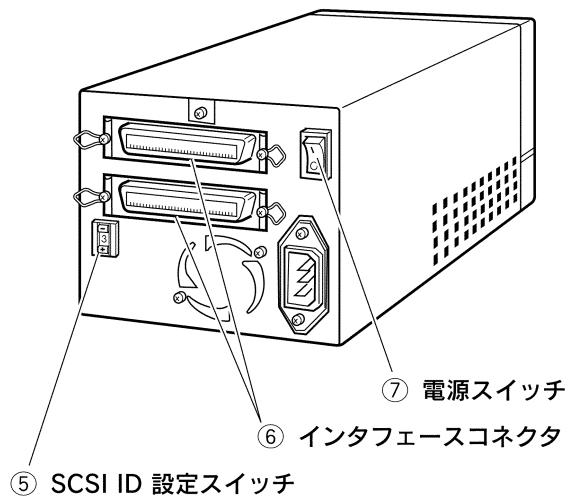
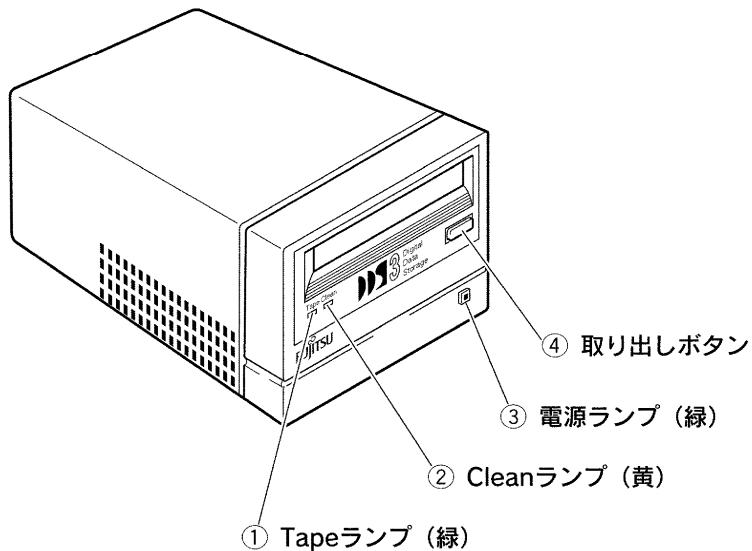
## 1.2 システム構成

本製品は、インターフェースに SCSI (Small Computer System Interface) を採用しており、SCSI バス上に最大 4 台まで接続できます。

なお、GRANPOWER5000シリーズ本体装置に内蔵されているハードディスクなどが、同一のインターフェースに接続されている場合は、それらも 1 台と数えます。



### 1 . 3 外観および各部の名称



## 1 . 4 各部の機能

### Tape ランプ(緑)

『Tape ランプ』の点灯は、データカセットがセットされていることを示します。

また、『Tape ランプ』の点滅は、以下の状態を示します。

- ・テープからデータを読み出しているとき ..... 高速で点滅します
- ・テープへデータを書き込んでいるとき ..... 高速で点滅します
- ・テープをロードしているとき ..... 低速で点滅します
- ・テープをアンロードしているとき ..... 低速で点滅します



### ポイント

『Tape ランプ』の高速点滅は、データカセットへのアクセスを示します。

『Tape ランプ』が高速で点滅しているときは、データカセットを取り出さないでください。

### Clean ランプ(黄)

『Clean ランプ』の点灯は、装置の故障を示します。『Clean ランプ』が点灯しましたら、弊社担当保守員にご相談ください。

また、『Clean ランプ』の点滅は、装置で訂正可能な内部エラーが多発していることを示します。書き込みおよび読み出しデータに異常はありませんが、『Clean ランプ』が点滅したら、装置運用が一段落したところで、以下の作業を実施してください。

クリーニングカセットを使用し、装置内部の清掃を行います。

使用中のデータカセットを取り出し、『クリーニングカセット』をセットします。自動的に装置内部の清掃が行われます(『Tape ランプ』が低速で点滅します)。清掃が終了すると、自動的にクリーニングカセットが排出されます。

なお、『クリーニングカセット』は使用できる回数に限りがあります。

クリーニングカセットをセットしても、すぐに排出されてしまう場合は、新しいクリーニングカセットと交換してください。クリーニングカセットの使用可能回数は、約25回です。

装置内部の清掃を実施しても、『Clean ランプ』の点滅が止まらない場合は、データカセットが劣化している可能性があります。新しいデータカセットと交換してください。

データカセットからの読み込みができない場合、取り出し／再セットを数回繰り返してください。それでも正常に読み込めない場合は、弊社担当保守員にご相談ください。

#### 電源ランプ（緑）

本装置の電源投入状態を示します。『電源ランプ』の点灯は、装置の電源が投入されていることを示します。

#### 取り出しボタン

『取り出しボタン』を押すと、装置にセットされているデータカセットが排出されます。



装置の電源が切断されている状態では、データカセットのセットおよび取り出しができません。

#### インターフェースコネクタ

S C S I ケーブルを用いて、GRANPOWER5000シリーズ本体装置または他のS C S I 機器に接続するためのコネクタです。

#### S C S I ID 設定スイッチ

ドライブ番号の設定に使用します。ドライブ番号の設定の方法については、6ページを参照ください。

#### 電源スイッチ

「|」側を押すと電源が投入され、「\_」側を押すと電源が切断されます。

## 2 . 取り扱い上の注意

本製品は精密機器ですので、以下のことに注意してください。

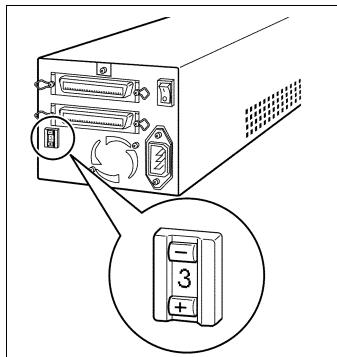
- ・ 装置内にデータカセットを入れっぱなしにしないでください。データカセットの寿命が極端に短くなったり、装置が故障したりする恐れがあります。  
データカセットは、バックアップ処理の開始に先立ちセットし、バックアップ処理完了後は速やかに取り出してください。
- ・ クリーニングカセットによる磁気ヘッドの定期的な清掃を必ず実施してください。磁気ヘッドの清掃に関する詳細は、「6 . 清掃について」を参照してください。
- ・ 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- ・ 直射日光のある場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・ 衝撃や振動の加わる場所での保管は避けてください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 内部に液体や金属など異物が入った状態でお使いにならないでください。もし、何か異物が入ったときは、弊社担当保守員にご相談ください。
- ・ パソコン本体の電源を切断するときは、データカセットを取り出してください。
- ・ 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- ・ 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合があります。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・ お使いにならないときや電源を切断するときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・ 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

### 3 . ドライブ番号の設定

---

#### 設定方法

本製品の背面の S C S I I D 設定スイッチでドライブ番号を設定します。  
+ を押すことで番号が 1 増え、 - を押すことで番号が 1 減ります。



#### 設定時の注意

本製品の設定スイッチは # 0 ~ 7 に変更可能ですが、お使いになっているソフトウェアで特に指定のない場合は、# 5 に設定してください。  
また、他の S C S I 接続機器と同じ番号に設定しないでください。

## 4 . 接続のしかた

本製品を、GRANPOWER5000シリーズ本体装置と接続する方法は以下のとおりです。

### 1 電源を切ります。

本体装置および周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントからはずします。

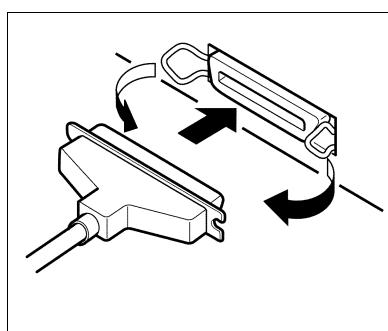


電源を切らずに接続を行った場合、感電の恐れや、本製品およびパソコン本体の故障の原因となります。

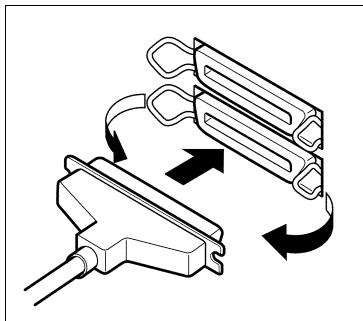
### 2 S C S I ケーブルを接続します。

本体装置のS C S Iコネクタに、S C S Iケーブルを接続します。

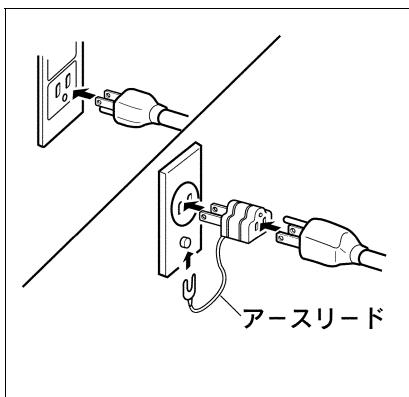
その際、S C S Iケーブルが抜けないように、両側の金具で固定します。



- 3** 本製品の2つあるインターフェースコネクタのどちらか一方にS C S Iケーブルを接続します。次に残りのインターフェースコネクタに、終端抵抗または他装置とのS C S Iケーブルを取り付けます。  
その際、S C S Iケーブルが抜けないように、両側の金具で固定します。



- 4** 電源ケーブルを接続します。  
本製品に添付の電源ケーブルを、本製品と電源コンセントに接続します。電源コンセントが2穴の場合は、本製品と電源に添付のアダプタプラグを取り付けてから、コンセントに接続します。  
アダプタプラグを使用する場合は、アースリードを必ずアース端子に接続してください。



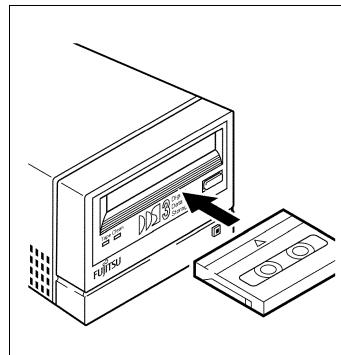
## 5 . 操作のしかた

### 5 . 1 データカセットの操作

#### 1 セット方法

データカセットのラベル面を上に向け、ラベルが手前になるようにしてドライブにまっすぐ入れます。

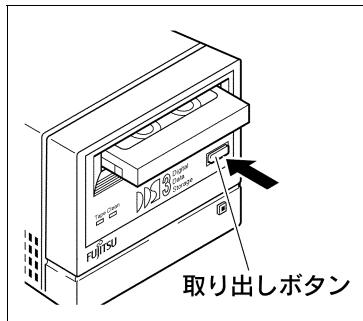
データカセットをセット直後にバックアップまたはリストアを実施する際は、『Tape ランプ』が点灯してから開始してください。



#### 2 取り出し方法

取り出しボタンを押します。

取り出したデータカセットは、ケースに入れて保管します。



#### ポイント

電源が投入されていない状態では、データカセットのセットおよび取り出しができません。

## 5.2 データカセットについて

本製品には、下記のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	備考
データカセットDAT CT12000	0121180	12GB (125mテープ)
データカセットDAT CT4000	0121160	4GB (120mテープ)
データカセットDAT CT2000	0121150	2GB (90mテープ)
データカセットDAT CT1300	0121110	1.3GB (60mテープ)

### 使用上の注意

#### 1 使用環境

本カセットテープは以下の環境でご使用ください。

温度 : 10 ~ 35

相対湿度 : 20% ~ 80% (結露しないこと。)

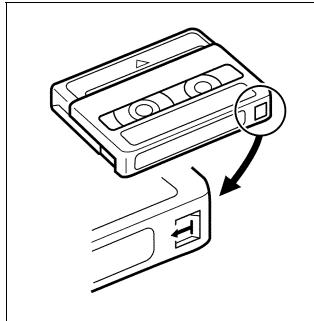
最高湿球温度 : 26

結露を避けるため、急激な温湿度変化 (15 / 時間、20% / 時間) のもとにさらさないでください。

使用環境が変わった場合、新しい環境のもとに24時間程度放置した後にお使いください。

#### 2 書き込み保護について

カセットテープのデータを保護(ファイルプロテクト)するときは、図のように白いタブをスライドさせてください。



#### 3 データカセットの寿命について

カセットテープは消耗品であり、使用回数に限りがあります。300回を目安にしてください。なお、お使いになる環境(温度、湿度など)や使用方法、装置のクリーニング状況によってはテープの傷みが早い場合もありますので、早めの交換をお薦めします。

## **6 . 清掃について**

---

### **6 . 1 磁気ヘッドの清掃**

#### **■ ■ ■ ポイント**

本製品は、データの書き込み・読み取りに磁気ヘッドを使っています。ヘッドがほこりやゴミなどで汚れていると、データの書き込み・読み取りが正常に行われません。また、データカセットの寿命が短くなる、データカセットのテープ表面に傷が発生し使用できなくなる等の不具合が発生します。このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカセットによる定期的な清掃（磁気ヘッドのクリーニング）を必ず実施してください。

清掃の実施方法は以下のとおりです。

本製品使用時間、5～25時間ごとに1回の割合で清掃してください。

#### **《清掃周期の目安》**

1日によく2～3時間のバックアップ処理を月曜日から金曜日に行う場合は、1週間に1回の清掃が必要です。「毎週月曜日の朝」といったような判り易い予定を立てて、定期的な清掃を実施してください。

本製品をまったく使用しない場合でも、1ヶ月に1回の清掃が必要です。本製品の『Cleanランプ』が点滅したときは、その都度清掃を実施してください。なお、清掃後も点滅が止まらない場合は、新しいデータカセットをお使いください。

新しいデータカセットに交換する前に、清掃を実施してください。

### **6 . 2 クリーニングカセット**

クリーニングカセットは下記のものをお使いください。

- ・クリーニングカセット DAT - N (サプライ番号：0121170)

クリーニングカセットをセットしても、すぐに排出されてしまう場合は、新しいクリーニングカセットと交換してください。

クリーニングカセットの使用可能回数は、約25回です。カセット内の右リールにすべてのテープが巻き付いていればクリーニングカセットの寿命です。

## 7 . バックアップソフトウェア

- 本製品は、以下に示すバックアップソフトウェアにて使用可能です。
- Windows NT 0 の NT BACKUP (NT 5.1以前は未サポート)
  - ARCserve for Windows NT J 0 L20
  - ARCserve for NetWare J 0
  - NetWare, IntranetWare の SBACKUP

## 8 . 仕様

項目	G P 5 S D T 3 0 1	
記憶容量	1 2 G B ( 1 2 5 m テープ使用時 )	
記録密度	1 2 2 , 0 0 0 b p i ( 1 2 5 m テープ使用時 )	
エラーレート (リード時)	1 0 <sup>-15</sup> ビット以下	
実効転送速度	1 M B / S ( 非圧縮時 )	
インターフェース	S C S I - 2	
環境条件	温度	稼働時 1 0 ~ 3 5 停止時 0 ~ 5 0 ( テープ未装着時 )
	湿度	稼働時、停止時とも 2 0 % ~ 8 0 % ( 結露なきこと ) 最大湿球温度 2 6